



社協職連協にゅ〜す

第37号

発行：茨城社会福祉協議会職員連絡協議会

令和3年3月26日 発行

令和2年度組織・財務検討委員会報告

今年度、「職連協のミッションを明確にし、確実な取り組み推進すること」を目的に組織・財務検討委員会が発足いたしました。

委員には各支部の理事、代議員の中から推薦をいただき、次のとおり決定いたしました。

なお取り組みを確実に推進するため、取り組み計画に基づき、協議を進めてまいります。

【組織・財務検討委員】

委員長 浅野健一(那珂市社協) 副委員長 岡野和弘(利根町社協)
委員 千葉優美(日立市社協) 委員 川上有里(東海村社協) 委員 廣木祐三子(城里町社協)
委員 江幡章宏(茨城町社協) 委員 小林純生(鉾田市社協) 委員 額賀小百合(鹿嶋市社協)
委員 岩瀬康典(土浦市社協) 委員 八須弘道(古河市社協) 委員 池羽修一(結城市社協)

【取り組み計画】

第Ⅰ期：具体的な取り組みの検討・見直し、調整・周知期間（令和2年度）

第Ⅱ期：第Ⅰ期で検討した取り組みの実施、研修会内容の検討（令和3～4年度）

第Ⅲ期：職連協支部区割りの検討並びに取り組みの総括・見直し・計画検討（令和5年度）

◆取り組み計画第Ⅰ期の検討結果について◆

取り組み計画の第Ⅰ期にあたる今年度は、全3回の協議を実施し、以下のような協議結果となりました。また来年度は、今年度の協議の結果をふまえ、取り組みを実施いたします。

検討事項	協議結果
1 職連協の周知について	●パンフレットの作成 職連協の意義目的の周知のため、具体的な活動や繋がりによる効果などをわかりやすくまとめる。印刷は、新任職員に直接周知できる最低限にし、データをホームページに掲載し、会員の誰もが活用できるようにしていく。 ●SNSの利用 若い世代が繋がりがやすく、情報も早く届く、公式ページのようなものを作る。
2 会費のあり方について	●支払い方法・金額 現状通り研修会参加費の助成等、会員・非会員に差をつける取り組みを引き続き行う。 ●事務局長への理解促進 賛助会費の支払いや役員の会議出席の理解のため、各支部内で、情報を共有し、事務局長へ職連協の説明を行う。
3 協議の場の設置について	●場の検討 コロナ禍で、オンライン会議が浸透してきたので、役員の移動時間や業務軽減のためにも、今後もオンライン会議等を活用していく。
4 職連協の組織体制の見直しについて	●事業担当別の協議の場 職務時間内の開催だと参加しづらいため、夕方等に任意で参加できる、情報交換会のようなかたちで実施していく。

●理事会（2回開催） ●代議員会（2回開催）、監査（1回開催）

●組織・財務検討委員会（3回開催）

●研修会

新任職員フォローアップ研修 令和2年10月16日（金）

講義：「地域共生社会と市民協働」

～コミュニティ・ソーシャル・ワーカー(CSW)としての社協職員の役割～

ワーク：「社協の仕事とキャリア形成」

～社協職員としての一人ひとりの役割を確かめながらこれからを考えます～

講師：茨城キリスト教大学 兼任講師 池田 幸也 氏

新型コロナウイルス感染対策に関する研修会 令和2年10月26日（月）

講義：「地域における感染対策で大切なこと」

講師：丸石製薬株式会社 感染対策コンシェルジュ 後藤 潤子 氏

オンライン会議に関する研修会 令和2年11月6日（金）

講義：「オンライン会議の概要理解と導入ポイント」

講師：関彰商事株式会社 ビジネスソリューション部 水戸支店 支店長 幾浦 誠 氏

：SB C&S株式会社 龍 健太 氏

：ジャパンメディアシステム株式会社 村上 史織 氏



那珂支部の活動紹介コーナー



今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、集合型の研修会・交流会の実施が難しい状況となりました。そこで那珂支部では、以下の方法で研修会および交流会を実施しました。

◆支部研修【令和元年東日本台風（台風19号）による災害ボランティアセンターを開設して】

常陸大宮市災害ボランティアセンター運営の振り返り、そこから学んだ教訓等をインタビュー形式に編集し、データとして那珂支部内の各社協へ配布。それを各社協ごとのタイミングで研修会として視聴することで、今後の自然災害に備えたセンター運営の心構えを新たにしました。

◆支部交流会「交流促進のきっかけづくり～支部の名産のご紹介～」

支部ごとの地域の名産を他の支部社協にお渡しすることで、支部どうしの交流のきっかけづくりや地域ごとの特徴を伝えあうという交流企画を実施しました。

不織布マスクの送付について

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、支部活動が計画どおりに実施できなかったとの報告が相次ぎました。

このような状況をふまえて理事会で協議した結果、支部活動推進事業助成金を活用し、本会個人会員全員に不織布マスクを配布することとなりました。なお、マスクの配布については令和2年度中に各社協に配布予定です。ぜひご活用ください。

